



# ほうき 議会だより

第54号

2018年  
7月25日



芋の苗植え(6月1日)岸本小学校

## おもな内容

- 平成30年度一般会計補正予算…………… 2ページ
- 全員協議会…………… 3ページ
- 請願・陳情、意見書…………… 4ページ
- 特別委員会…………… 5ページ
- 伯耆町議会初 住民説明会開催**…………… 6ページ
- 一般質問…………… 7～13ページ
- 議会の虫めがね、編集後記…………… 14ページ

## 人の動き

	平成30年6月30日現在	前年同月比
人口	<b>10,990</b> 人	△172人
(男)	<b>5,246</b> 人	△72人
(女)	<b>5,744</b> 人	△100人
世帯数	<b>3,814</b> 世帯	△8世帯

# 平成30年度 伯耆町一般会計補正予算（第1号）

## 1千300万円を増額補正

### 補正後 総額85億7千800万円（0.15%の増）

生活保護システムの改修業務についての処理委託料  
担い手確保・経営強化支援事業【新規】  
退職した消防団員に退職報償金を支給するため、その報償金

6月定例会を6月12日から  
20日まで開会  
平成30年度一般会計補正予  
算などを原案可決、専決処分  
議案を承認。

**平成30年度  
一般会計補正予算  
（主要事業の概要）**

#### 歳入

- ・ 分担金及び負担金
  - (1) 宮城県山元町派遣職員負担金 8,181千円
- ・ 国庫支出金
  - (1) 生活困窮者就労準備支援事業等補助金 1,171千円
- ・ 県支出金
  - (1) みんなでやらいや 農業支援事業補助金 Δ4,060千円
  - (2) 担い手確保・経営強化支援事業補助金 5,839千円

#### 歳出

- ・ 民生費
    - (1) 生活保護総務一般
      - （財源：国 1,171千円  
一般財源 1,173千円）
    - (2) 農林水産業費
      - ・ みんなでやらいや 農業支援事業 Δ5,839千円
      - （財源：県Δ4,060千円  
一般財源Δ1,779千円）
  - ・ 消防団員退職報償金負担金 2,157千円
  - ・ 消防費
    - (3) 消防費
      - 消防団運営事業 2,157千円
      - （財源：諸収入2,157千円）
- （担い手確保・経営強化支援事業【新規】  
財源：県 5,840千円  
一般財源 1千円）

・ 諸収入  
消防団員退職報償金負担金 2,157千円  
県補助事業で実施予定の事業が国の補助事業に認定されたため、事業費を計上する。



西部消防ポンプ操法大会



町内の鳥取県産米（新品種追肥作業）

みんなが知りたい

# 全員協議会

平成30年6月定例会関連の全員協議会は、6月6日、19日に開催、本会議上程議案等説明を受け協議した。

## 主な協議事項

### ●大山ハム株式会社大山ファクトリー新工場の進出について(説明)

進出予定企業

名称 大山ハム株式会社

所在地 米子市夜見町3018番地

事業内容 ハム、ベーコン、ソーセージなどの

の食肉加工品の製造販売並びに総

菜、冷食・食肉の販売

進出目的

大山ハムならではの商品づくり、

地元ブランド色を強めた知名度向

上を目指して、大山が望める場所

に工場を設置し、大山ハムらしさを

発揮してブランドの価値と認知

度を向上を図る。

進出予定地 鳥取県西伯郡伯耆町須村1-1-3、

1194番地(現すこやか村用地他)

今後のスケジュール 9月 進出協定締結

10月 造成工事着手

12月 工場建設工事着手

平成31年10月 竣工・操業開始



大山ハム 大山ファクトリー完成イメージ図

### ●ソーラー・フィールド9合同会社が行う伯耆町福兼地内(旧日光カントリークラブ)での太陽光発電事業の開発協定書の締結について(説明)

1. 開発事業概要

事業名…大山日光CC太陽光発電事業

事業内容…太陽光発電所の建設

事業主体…ソーラー・フィールド9合同会社

(東京都)

開発箇所…伯耆町福兼地内(旧日光カントリークラブ)

開発面積…262,807㎡

2. 地元説明状況

事業者において未鑑区へ開発についての説明を実施し同意済。

3. 今後のスケジュール(予定)

平成30年6月～9月 他法令許認可関係手続き

9月～ 造成工事着手(伐採工)

10月～ 土木工事、架台、モジュール設置

平成31年4月～ 電気工事

平成32年3月～ 工事完了

平成33年4月 連携(売電)開始



パネル配置図

### ●溝口分庁舎改修工事設計の概要について(説明)

1. 改修の目的

溝口分庁舎及び溝口公民館は、

建築から15年が経過していること、

鳥取中部地震などの地震を経ている

ことから、不具合箇所の修繕を

行い、長寿命化を図る。また、併

せてバリアフリー、省エネルギー、

防災、減災に配慮した改修をおこ

なう。

2. 設計概要

・設計者

株式会社あおい総合設計

米子市皆生6丁目1番25号

・工事総額(概算) 2億円程度

(再精査中)



溝口分庁舎1階

# みなさんからの請願・陳情は次のとおりとなりました

## 6月定例会で審査した請願・陳情の委員会、本会議での採決結果

件名	提出者	付託委員会 (採決結果)	本会議 採決結果	理由
地方財政の充実・強化を 求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 西村裕生 伯耆町職員労働組合 執行委員長 影山晃司	総務経済 常任委員会 (採択)	採択 意見書提出	公共サービスの質の確保と自治体の安定的な行政運営を実現するために、見合う地方財源を確保する必要がある。

## 内閣総理大臣等に提出した意見書(要旨抜粋)

### 地方財政の充実・強化を求める意見書(要旨)

地方自治体は、子育て支援策の充実と保育人材の確保、高齢化が進行する中での医療・介護などの社会保障への対応、地域交通の維持など、果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の実行やマイナンバー制度への対応、大規模災害を想定した防災・減災事業の実施など、新たな政策課題に直面している。

一方、地方公務員をはじめとした公的サービスを担う人材に限られる中で、新たなニーズへの対応と細やかな公的サービスの提供が困難となっており、人材確保を進めるとともに、これに見合う地方財政の確立をめざす必要がある。

2019年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざすことが必要である。このため、政府に以下の事項の実現を求める。

#### 記

1. 社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。
2. 子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。
3. 災害時においても住民の命と財産を守る防災・減災事業は、これまで以上に重要であり、自治体庁舎をはじめとした公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業の対象事業の拡充と十分な期間の確保を行うこと。また、平成27年度の国勢調査を踏まえた人口急減・急増自治体の行財政運営に支障が生じることがないように、地方交付税算定のあり方を引き続き検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成30年6月20日

鳥取県伯耆町議会

内閣総理大臣ほか関係大臣様

# 伯耆町議会基本条例並びに 伯耆町議会議員政治倫理条例を制定

～特別委員会14回開催～

**【目的】（第1条より）**  
議会の活性化と町民の意見を反映した町政を実現するために議会と町民及び町執行機関との関係において、議会のありべき姿と議会及び議員の基本事項を定めること。

**調査の結果**

当特別委員会は月1回の開催を決定し、3月定例会において6月末までの期限延長を行い、これまで14回の特別委員会を開き、調査研究を行った。議会基本条例及び議会議員政治倫理条例の制定に向け検討を重ね、条例及び施行規則案を作成し本定例会で提案する。

**【議会基本条例】（主な内容）**

（議会の活動原則）  
第2条 議会は、町民の代表機関であることを常に自覚し、公平性、透明性及び信頼性を重んじ、町民に開かれた議会を目指して活動する。  
（議員の活動原則）  
第3条 議員は、議会が合議制の機関であることを十分に認識し、議員相互間の自由な討議を重んじなければならない。  
（町民参加及び町民との連携）  
第4条 議会は、議会の活動に関する情報公開を徹底するとともに、町民に対する説明責任を十分に果たさなければならない。  
（町長等による政策等の形成過程の説明）  
第6条 議会は、町長等の進める重要な計画、政策、施策及び事業等については、次に掲げる事項等の形成過程を明らかにするよう求めるものとする。

**【伯耆町議会議員政治倫理条例】（主な内容）**

（目的）  
第1条 この条例は、伯耆町議会議員の政治倫理基準等を定めることにより、議員が町民の厳粛な信託を受けたことを認識し、町民全体の代表者として、その人格と倫理の向上に努め、清潔かつ公正で開かれた民主的な町政の発展に寄与することを目的とする。  
（政治倫理基準）  
第3条 議員は、地方自治法、公職選挙法、政治資金規正法等の法令とともに、議員の品位と名誉を重んじ次に掲げる政治倫理基準を遵守して行動しなければならない。  
(1) 議員の地位を利用して、自己又は特定の者の不当な利益を図ってはならない。  
(2) 不当な金品等の授受を行ってはならない。  
(3) 政治的又は道義的な批判を受けるおそれのある政治活動に関する寄附（議員の後援団体に対するものを含む）を受けてはならない。  
(4) 町若しくは関係団体が締結する売買、賃借、請負その他の契約又は特定の者に対する行政庁の処分に関し、特定の者に有利になる働きかけをしてはならない。  
(5) 議員の地位を利用して地位による影響力を及ぼすことにより、町の職員又は関係団体の役職員の公正な職務の執行を妨げる等不当な行為をしてはならない。  
(6) 町の職員の採用及び人事異動に不当な関与をしてはならない。  
(7) 町から運営補助金等の交付を受けている受益団体の代表者等には原則就任しないこと。ただし、公益的団体の代表者等に就任する場合は、この限りではない。  
(8) 町の審議会等附属機関の委員には、法令に基づくものを除き、就任しない。

町民へパブリックコメントの募集を実施した結果、3件のご意見をいただきました。

ホームページにて掲載しております。



ホームページ  
<http://www.houki-town.jp/new1/10/28/8/n952/>

（議決事件の追加）  
第8条 町の基本構想及び基本計画を議決事項に追加する。

# 伯耆町議会初

# 住民説明会開催 参加者募集

## 〔議会基本条例・議員政治倫理条例〕

# 住民と議会の距離を縮めることが1つの課題

南部町議会、大山町議会を視察調査。意見交換会、議会報告会等の参考にす

特別委員会は、議会改革調査特別委員会（渡部委員長、杉本副委員長以下14委員の全議員で構成）は、既に意見交換会、住民説明会等を行なっている、南部町議会と大山町議会の視察調査をした。

「伯耆町議会に対するアンケート（18歳以上の住民2,000人を対象、平成29年11月27日～同年12月11日に実施）」の結果を踏まえ、議会活動の広報のあり方や今後の議会及び議員のあるべき姿にむけた諸課題の解決のための検討、実践、調査を目的に設置した。

### アンケート結果



伯耆町ホームページに掲載

### 南部町議会

議会の役割や運営などの理解を得るため、平成24年平成25年と住民説明会を実施。平成27年からは、住民の声をきく会に変更し、現在に至る。

### 声をきく会議員編成

全議員出席

### 開催

旧町2会場

### 役割

司会…議会改革委員長  
説明…議長、副議長、予算決算常任委員長

### 周知方法

テレビ、文字放送、防災無線、チラシの新聞折り込み。

### 住民からの意見への対応

ほぼ持ち帰り、議会だよりに掲載し回答。  
執行部案件は、記録から委員会と協議、執行部に質問し、委員会で回答を決定し、議会だよりに掲載。

### その他

テーマは決めずに地域課題を聞く。

### 大山町議会

平成22年から報告会を実施。その後、見直しをして、議員と語る会に変更し、現在に至る。

### 語る会議員編成

5～6人議員の3班編成

### 開催

旧3町×2会場で計6回を、年2回（予算、決算議会後）開催



大山町議会視察

### 役割

班長（司会）…常任委員長または、広報委員長、副議長、議会運営委員長

### 周知方法

議会だより、各戸チラシ、防災無線、各種団体への周知

### 住民からの意見への対応

個人の意見は述べないよう申し合わせはしているが、参加者の要望にこたえるべく、個人の意見として回答↓対議員だけでなく参加者の討論に発展している。質問に対する説明は、出席議員が協議補完しながら回答。  
議会が重要と認められたものを、町長に文書報告し対応を求める。

### その他

参加者のアンケートを実施。  
参加者が減少しているのが課題。  
委員会活動として、PTAなどの団体との意見交換会も実施。

### 伯耆町議会版意見交換会（住民説明会）

伯耆町議会で初めての意見交換会等を実施するにあたり、今回の視察は非常に多いものとなった。

2町の実施方法は異なるが、それぞれの手法から、メリット・デメリット、本町との適性を考察し、初となる、伯耆町議会版意見交換会等実施にあたり仕組みづくりの参考にした。

### 伯耆町議会住民説明会

日時 平成30年8月9日(木)  
平成30年8月10日(金)  
両日とも19:00～  
場所 9日…溝口公民館  
10日…岸本公民館

※申込み不要

ご参加お待ちしております！

# 一般質問 町政を問う！

一般質問とは、議員が町長等（執行機関）に対し、町の行政全般について執行状況や将来の方針等を問うものです。

6人の議員が一般質問を行いました。

## 基本ルール

- ・質問要旨は事前に通告
- ・持ち時間は1人60分
- ・町行政に関係があるもの

伯耆町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。  
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

ページ	質問事項	質問議員
8	1.ピロリ菌抗体検査の受診率および成果の検証について (過去4年間) 2.伯耆町女性消防団員について ほか	乾 裕 
9	1.単町補助事業など公共施設等の維持管理における 町民の負担軽減を図ること 2.原子力発電所事故対策 ほか	森下 克彦 
10	1.インバウンドの現状について 2.観光と地域振興について ほか	細田 栄 
11	1.「国保」制度の構造問題解決のために提案 2.子どもの医療費完全無料に ほか	幅田千富美 
12	1.内部統制について 2.社会教育について	永井 欣也 
13	1.英語検定の受験料を補助し、英語力のアップを 2.町の「基金」の積み立てと活用情報の発信を ほか	勝部 俊徳 

議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます



youtubeの二次元  
バーコードはこちら  
です。

# 町政を問う

## ピロリ菌抗体検査（県内初）の検証は

### 健康対策課長 胃ガンの早期発見など一定の効果はあった



集団検診

**健康対策課長** 平成26年から、胃ガン撲滅を目的に、町内医療機関または集団健診会場において実施してきた。WHO（世界保健機構）によれば、胃ガンの原因の80%はピロリ菌によると言われており、除菌することで胃

**ピロリ菌抗体検査**



乾 裕

ガンの発生を30%から40%減らすことが出来るとされている。本町実施の検査では陽性の方に対して除菌することを呼びかけて来た結果、過去4年間で2,237人が受診されその中で陽性者だった方は690人。その内70%から80%の方が除菌済みとなっている。有識者の意見としては、現在の受診率は一定の効果はあったとされ、3名の方の早期ガン（胃ガン）の発見や除菌率の高さから、胃ガン予防につながったと検証されており、今後については、対象者の50%の受診率を目標とすべきとし、可能であれば継続することが望ましいと聞いている。今後については、専門家の意見を踏まえ検討したい。

## 伯耆町女性消防団員の活動状況は

### 総務課長 実務に支障はない

**女性消防団員の活動状況**

**乾** 女性消防団員の活動状況はどうか。10名の団員数と聞くと実務に支障はないか。

また、消防団員全体では本年4名の退職者があるが充足数はどうなっているか。

**総務課長**（平成29年度 火災発生時の後方支援）延



心肺蘇生講習

人数6名。啓蒙活動(同)6名。研修訓練(同)11名。式典等参加(同)3名。捜索活動1名。計延27名。実務に支障はないが今後女性職員への声かけやケーブルテレビ、町広報、防災無線等を活用し団員確保に努めたい。消防団員全体では平成29年4月1日では150名の団員数だったが本年度は、4名が退職し2人の新人が入団し148名となっている。条約定数は163名である。

**乾** 防災士は、民間資格だが社会のさまざまな場面で減災と社会の防災力向上のための活動が期待される。現時点で認証者は何名か。

**総務課長** 現在7名が認証されている。

**乾** 防災ハンドブックの進捗状況はどうか。ベクトとの同伴避難の際のルールやマナー、日ごろからの避難時におけるしつけなどの記載はあるか。

**総務課長** 仮称「防災のしおり」については、これまでのハザードマップと防災ハンドブックを合わせてひとつにまとめ、新たに更新された水害や土砂災害などの最新情報、地震発生時の指定緊急避難場所等。防災に関する基本情報では新たに弾道ミサイルの飛来などを追加し、人命を守るための知識や情報を掲載。ベクトの同伴避難時のマナーやルール等については限られたページの中で必要最低限になる見込み。来年4月に配布予定。

# 町政を問う

## 公共施設等の維持管理にかかる町民負担の軽減について

### 町長 総合計画の見直し時期に検討したい



森下 克彦

# 原子力発電所事故に対する対策は

## 町長 県、西部町村と連携して対応を図る

消防施設整備費や農道・水路の改修費の受益者負担の軽減を

森下 集落等の構成人数や所得の減少等社会状況を踏まえ、街灯、消防施設、営農のための道・水路の改修などの整備時の町補助率の向上を図るのではないかと。

町長 現在、第2次総合計画に基づき町政を運営している。平成32年度の計画見直し時期に検討したい。

森下 事業実施に伴う書類作成作業等の負担軽減を図りたい。

町長 専門職員が少ない。事業の発注は集落であり、困ることがあればパートナー職員に相談されたい。

### 下水道料金の軽減を

森下 下水道料金は、世帯割と世帯員割からなっており、世帯員割は大人も子供も1人分である。排水量に差があるので、子供分は軽減を図ることはできないかと。

町長 考え方は色々あるが、現行の算定方法が適当と考えている。

### 原発事故への対策は

森下 島根原発3号機の新規稼働に向けた動きがある。原発事故発生時の対策は、総務課長 町防災計画(原子力編)による。

森下 各戸配布された「県原子力防災ハンドブック」によると、当町はモニタリングポストの設置空白地域となっている。町長 設置時に専門家会議で検討された結果だが、設置した方が望ましい。県に考え方を聞いてみたい。



消防設備(ホース)



原子力防災ハンドブック(鳥取県発行)

# 町政を問う

## インバウンドの現状は

### 町長 年間1万2千300人の宿泊客



細田 栄

# 観光を地域振興にどう生かすか

## 町長 地域固有の資源・文化に磨きをかける

**細田** 本町のインバウンドの現状はどうなっているか。

**商工観光課長** 平成29年の外国人宿泊者数は、町内で12,308人であった。施設への入場者数は不明。

**細田** インバウンドを地域活性化に生かす考えはないか。

**町長** 人口減少などにより国内旅行者は減少している。一方国際的には外国人旅行者が増加し、本町にも多く来ているが、

日本や地域の魅力に磨きをかけ、住みよい「まちづくり」をすることだと思ふ。

**細田** 「市町村アカデミー」の市町村議員特別セミナーに参加した。その中で今後の観光振興の方向としては、官民ともパブル期のような大型箱物事業ではなく、今ある資源や資産を最大限活用すること。地域固有の生活・文化を再発見し、住んでよし、訪れてよしの地域づくりをすることと教わったが、町長はどう思われるか。

**町長** 全く同感である。民間との共同、連携が益々重要になる。このたびの大山ハム新工場と直売施設などにも期待している。



大山望

### 「人口減少」を受け入れる

**細田** 国では新しい5か年計画「まち・ひと・しごと創生」に着手すると発表があった。東京一極集中を是正するため、地方の就業者や起業者を30万人増やす目標としている。人口減少は日本全体で進行しており、本町の人口数値に一喜一憂するのではなく、人口減少を

受け入れ、住民がいかに楽しく、安心して暮らすが、まちづくりの真価が問われる計画になるのではないか。

**町長** 首都圏の吸引力が益々増大している。本町も人口減少に歯止めがかけられない。人が定着するために優良な生活環境と働き場の確保が絶対条件となる。引き続きパランスのとれた総合的なまちづくりに務めたい。



ロイヤルホテル大山

# 町政を問う

## 国保制度の「構造」問題解決のために提案

### 町長 法に基づいて運営していく



幅田千富美

国民健康保険制度について

幅田 無職等の低所得者が、高い国保税を払い続けるという「構造」問題が重大化している。

国保世帯の生活状況をどのように把握し、対応されているか。

町長 法に基づいて運用していく。今年度は一般会計からの繰入れを行い、例年通りの税率とした。住民課長 モデル世帯の税額は健保と比べ月約8,300円高い。

幅田 問題解決のために提案する。

①国、県の負担増額と町の一般会計からの繰入れを。

②町独自の減免制度の創設を。

③医療費一部負担金の減免措置を。

## 子どもの医療費を完全無料に

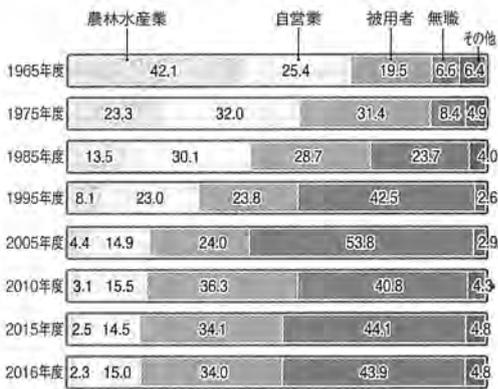
### 町長 現状制度の維持を優先

資料2 市町村国保の保険料、加入世帯の平均所得 (年次推移)

年度	被保険者1人当たり保険料(円)	加入世帯の平均所得(万円)
1984	39,020	179.2
1985	43,357	186.8
1990	62,092	240.5
1991	65,284	276.5
1995	70,620	230.8
2000	79,123	197.5
2005	80,352	168.7
2010	88,578	145.1
2015	92,124	139.6
2016	94,140	138.8

注)2000年度以後の保険料には「介護分」が含まれる (出典:厚生省保険局「国民健康保険事業年報」各年度版、同「国民健康保険実態調査報告」各年度版)

資料1 国保世帯主の職業別世帯構成割合の変化



注)2005年度と2010年度の間で「無職」が減っているのは、2008年に後期高齢者医療制度が創設され、75歳以上の世帯主が国保を脱退したため

「議会と自治体6月号」から転記

④18才未満の子どもは均等割を減免する。

⑤短期保険証の改善を。

町長 法に基づいて運営する。

健康対策課長 短期証のサイズを8月から一般の保険証と同様の大きさにする。

### 子どもの医療費を完全無料に

幅田 子どもの医療費助成制度は、高校卒業まで拡大されたが、定額の自己負担が必要である。

全国では、自己負担なしの自治体が60・2%に広がっている。町で通院入院の窓口負担をなくし、子どもの医療費無料化制度を国、県に求めないか。

町長 年々対象を拡げられており、改悪にならないよう現在の制度の維持を優先させる。

### セクハラのない地域社会を

幅田 財務省事務次官の女性記者に対するセクハラと政府の対応に怒りが広がっている。町では、第2次男女共同参画計画や人権施策推進計画を制定しているが、計画の見直し、ハラスメント防止要綱などの制定が必要である。

町長 コメントに値しない恥ずべき事。法的整備が必要ではないか。

教育長 人権施策推進計画の男女共同参画に定めるところにより取り組んでいく。

# 町政を問う

## 内部統制の取り組みと考え方は

**町長** 基本は情報公開。チェックと現場からの改革を継続



永井 欣也

### 内部統制について

**永井** 平成29年6月に地方自治法等の一部を改正する法律が公布され、一部自治体に内部統制の制度が義務付けられた。本町は努力義務だが、制度化を求めたことをどのように受け止めるか。

**町長** 努力義務であり、検証、研究する。まずは不祥事やレベル低下状況しないよう職員研修をしっかり行い、予算編成、執行、協議等の場面でチェックする体制をとっていく。

**永井** 内部統制の目的とされるものに、これまでの様に取り組んできたか。

**町長** 基本は情報公開。WEB上への蓄積など公開度を上げ、町民にわか

## 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造は

### 教育長

### レベルの高い文化芸術体験の機会充実から

り易くしてきた。人口減少に対応した行財政スタイルをしっかりとするため、チェックと現場からの改革を続けたい。

**永井** 人的、財政的制約の中で、今後の新たなリスク、内部統制の進め方をどう考えるか。

**町長** 行財政運営については、町民の目で見つけたり見て頂けるよう、よりわかり易くしていく。

リスクとして、職員が充足していくのかという懸念。基礎自治体を運営する上で、人材の不足に徐々に備える心構えを持たなければならぬ。

### 社会教育分野について

**永井** 本町の教育振興基本計画の見直しが行われた。芸術文化の振興と豊かな人間性の創造という



町指定文化財はまなんご（大内集落）

施策方針がある。

文化財の保存と活用について、個人所有もあるが、その保護活動は。

**教育長** 所有者の管理が基本。自然のものもあり、個人所有者ともよく相談しながら進めている。

**永井** 鬼ミュージアムでの民俗資料や発掘出土物の活用、展示の考え方は。

**教育長** 全ての物の保管スペースはなく、選定作業を行う。展示を主とする施設ではないが、小学生等の見学や学習の場として提供を考えたい。

**永井** 地域芸術文化の振興についての具体策は。

**教育長** 写真美術館、鬼の館、各公民館などそれぞれの特色ある文化活動を

に触れる機会を提供する。自発的な芸術文化活動を推奨し、施設の利用促進に努めたい。

**永井** 子ども達へのレベルの高い文化芸術体験の機会充実が教育効果が大きいと考えるが。

**教育長** 好影響を与えている。国、県事業を活用し、本物の芸術文化活動に触れる機会を学校要望に応えるよう引き続き努力したい。



フォトスクール（八郷小学校6年生）

# 町政を問う

## 英語検定3級50%以上の合格率を目指し、 中学生の受験料補助を!

**教育長** 学校などの意向も聞いて、来年度に向けて検討してゆきたい



勝部 俊徳

### 町の基金の積み立て方は

**町長** 今よりも減らさない形で後年度へ

### 「立志教育」への評価、取り組みは

**教育長** 立志教育というスタンスではなく、その主旨を尊重しながら

**勝部** 来年度から英語が全国学力テストに加わる。テストに向け設備やパソコンへの問題はないか

**教育長** これからの子供たちに英語力の拡大は大切である。小学校には専属の「ALT」を配置。

**教育次長** おおむね問題なくテスト実施可能と考えている。

**勝部** 大学入試センター試験において2024年度から英語の民間資格試験への移行の認識は。

**教育長** 英語の4技能(聞く・読む・書く・話す)とこれまでのマークシート方式では判断できないかと推測する。

**勝部** 英語検定料を補助し英語力のアップをしないか。

**教育長** 本町の中学校では約60名が受験。

学校などの意向も聞き、来年度に向け、検討したい。

**勝部** 本町の基金の状況は。

**総務課長** 一般会計での17基金で約38億円である。

**勝部** さる4月24日の経済財政諮問会議での地方の基金増加についての受け止め方は。

**町長** 基金問題は、一律ではなく濃淡や個別の事情がある。

**勝部** 基金増加と地方交付税削減についての見解は。

**町長** 直接的に関連づけの議論は不適切かと。

**勝部** 今後の基金の積み立て方の考えは。

**町長** 公共事業への前払金も必要。減らさない形で後年度へ引き継いでゆく。

**勝部** 「立志教育」への認識は。また八郷小・岸中野球部へのこの授業見解は。

**教育次長** 立志教育は、キャリア教育と重なるところも多い。岸本中では、課外授業で「志授業」という形で行われ、問題はないと理解している。

**勝部** 今後の「立志教育」への取り組みは。

**教育長** 立志教育を標榜して今後、進めることはない。「立志」の主旨をもって、学校教育の中で尊重しながら、進めてゆきたい。



英語活動のアルファベットの勉強 (岸本小3年2組)



豊かなふるさと創造基金による図書購入 (岸本・溝口両図書館)



# JR溝口駅「遊学館」2階にて練習 荒神神楽を身近に感じて

伝統文化の普及に集うコミュニティが、  
町に人を寄せていく



毎週木曜日の夜7時  
溝口駅の「遊学館」2階  
でにぎやかな太鼓や笛の  
音が鳴り響く。二十代、  
三十代のメンバー中心の  
9名で構成される  
「鳥取荒神神楽研究会」  
が2階の和室で神楽演舞  
の練習をしている。  
この会の会長は二十代。  
副会長は三十代の女性で  
あり、日々子育てをしな  
がら伝統文化の普及に励  
んでいる。この若き力を  
牽引する徳林会長に話を  
聞いた。

**徳林会長** 平成23年に設  
立したサークルで溝口に  
拠点を置き、神楽を広め  
る為の活動をしています。  
日野高校郷土芸能部で学  
んだ経験を生かし、諸先  
輩方の協力を得ながら、  
スキルアップをし、道具  
なども支援をいただきな  
がら少しずつ集めていま  
す。



毎週木曜日夜は練習の時間

**質問** 現在の活動と今後  
の展開は？  
**徳林会長** 神楽の中でも  
「恵比寿様の鯛釣り」と大  
黒様の福授け」の神楽な  
ので大きな場所もとらず、  
時間も一〇分程度で様々  
なイベントに呼んでいた  
だいています。  
皆生温泉で県外客への  
おもてなしをしたり、田  
植えイベント、お祭り、  
敬老会などの舞台にも立  
ちます。

## 鳥取荒神神楽研究会

メンバー募集中！  
皆生・東光園にて毎月第三木曜日  
気軽に神楽の世界を体験できる  
「神楽ふれあい体験会」開催。  
くわしくはホームページを  
ご覧ください。  
<http://kagura.kaiz.asia>



溝口 春の彼岸市での福まきの様子

メンバーは仕事をしな  
がら「好きでやってい  
る」面々。演目も少しづ  
つ増やし、ひとつずつし  
っかり公演をこなし継続  
していきたい。

## 編集後記

農作業も一段落し初夏  
を迎える季節となりました。  
6月定例会において  
は6名の一般質問そして  
全員協議会では提出議案  
について活発な議論が行  
われました。議会広報常  
任委員会一同これから皆  
様に親しまれる、より良  
い「議会だより」の編集  
に向けて研鑽、努力をし  
てまいりますので宜しく  
お願い致します。これか  
ら毎日暑い日が続きます。  
皆様お体をご自愛くださ  
い。

### 【編集】

(二橋 信介)

議会広報常任委員会

委員長 一橋 信介

副委員長 長谷川 満

委員 幸本 元

委員 乾 裕

委員 杉本 大介

委員 森下 克彦

「議会だより」に対するご意見を  
お待ちしております。

